

保育者と父母を結ぶ雑誌

昭和47年2月10日第3種郵便物認可
2000年10月1日発行毎月1回1日発行

【特集】

泣いて笑って
子育て・保育

ちいさい なかま

10月号

2000—NO.400

400号
記念



表紙●土田義晴 構成・広瀬郁
グラビアデザイン●山田道弘
イラスト●園房江/関口シュン/近藤理恵/くさかみつり/西岡周造/矢口由美子

泣いて笑って子育て・保育

特集

子育て子どもはパワーの源

すべては楽しむこと ●田村一正 20

子どもたちからパワーをもらって ●堀田千也紀 23

保育 大変だけどやめられない

なんともいえないしあわせな一瞬 ●安彦孝 26

自分に磨きをかけつつげたい ●山中あけみ 29

保育園がなつかしい——九年ぶりの再会 ●横田小百合 32

笑顔で食べておおきなあれ ●浜川朋子 36

保育所は子育てのふるさと ●蔵持麻子 38

保育園 大人が変わるフシギな空間 ●大元千種 42

子育て・保育 川柳 ●読者から 48

巻頭の「フシア」

わたしの一日 働くと言ったこと ●繁田厚子・央倫さん ●写真と文・落合由利子

とびら詩 ●さかぐさたくみ 5

表紙のおはなし 風はなんていってんの? ●まじいヌーザン 6

わが庭 ●馬小屋のコマーシャル ●宮川ひろ 10

子育て日記 仕事人間を母親に変えた娘たち ●椎谷郁子 70

連載

子育て万華鏡 ●ヒデト君はタイのおばあちゃんの元へ ●阿部菜穂子
きょうはどの絵本? ●どきん ●森田春美 58

わたしの保育実践ノート ●保育者として生きてきて今、大切に思うこと ●田口早苗
イラストエッセイ かわむし母さんのひ・と・り・こ・と ● 53

そして今年も秋がくる…… ●岩間みどり 53

おいしいカンタン朝ごはん ●カンタンみそ汁アラカルト ●牧野池保育園
あぶないにほんこ ●うっかり石ころの巻 ●村中李衣 59

講座 乳幼児の発育・発達と栄養 ●アレルギーとタンパク質・脂肪 ●小川雄二 56

講座 子育てを支える ●お父さんとのコミュニケーション ●池添素 83

いっしょにつくる!! ●ウルトラマンの胸ピッコン首飾り ●つかへ美菜子 54

新育児文化リーダー ●子ども同士の関係を豊かに(一) ●鈴木佐喜子 62

交流ネットワーク

子どもと保育労働者の未来をみつめて ●小早川淳子 86

各地のたより 90

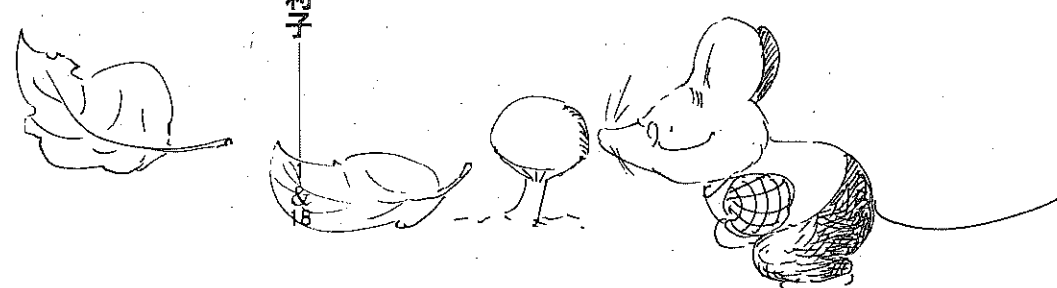
全保連だより 92

保育ジャーナル 94

読者のページ 12

新刊案内 82

編集後記 96



子育て・保育 川柳

子ども

- 手の上で 丸くコロコロ ダンゴムシ
- 初恋か？ 初めて聞いた好みの娘の名
- 登園日 デンデンムシに なる娘
- 朝泣いて 夕帰らない 保育っ子
- オニの日は、と 夏だというのに 聞く娘
（二月三日に園に来るオニがとてもこわかったんでしよう、「まだ来ない？」とよく聞きます）

親子

- 子の寝顔 ため息まじり 見てる母

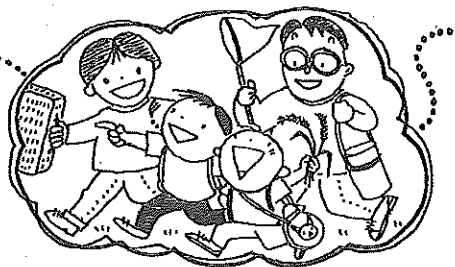


- 弁当と水筒持って行くだけで いつもの散歩が 楽しい遠足
- 同じよう 育てて違う 上と下
- 愛しいが 怒ってしまふ 長女
- 怒っても つい許しちゃう 二女の顔
- 朝誓う 「早く早く」と せかすまい
- のんびりや 早くせかせと ピンとこず
- 今日もまた 寝顔見ながら ごめんなさい
「早く」「ダメ」と本当は言いたくないことばをいっばい言ってしまった日など「ごめんね」とあやまっています

- 体温計 数字の上下に 一喜一憂
（子どもが病気のときは変わってあげたいと思うほどつらくなります）

- 「また来てね」 言われた父は 大シヨック
（夜帰るのが遅くて娘が寝てしまった翌日、「いってらっしゃい」のかわりに娘が言ったことばです）

- いつまでも 続いてほしい 帰り道
（自転車で娘と帰る時間が大好きです。翌日が休みするときなど、散歩しながらのときもあります。いろんな話をしたり、ウィンドウをのぞいたり、ステキな時間です）



親と保育園

- 間に合った 今日七時に ギリギリセーフ

福祉のひろば

【2000年9月号】

●特集● おとなが子どもにできること

子どもたちは守られているか

思春期のトラブルを乗り越えるために
 未来を探る高校生と語りあう親たちと
 少年たちの「事件」をどうみるか

社会・教育・文化の歪みのなかを生きる少年たち
 私の子どもから私たちの子どもたちへ
 地域からなくしたい独りはっちの子育て

増える虐待相談の背景は

山下 雅彦
 宮城・坂野院小児科・上山真知子
 愛知・県立高校教員・吉田 豊
 弁護士・渡辺 和恵
 哲学者・藤坂 真
 大阪母親大会・植田 晃子
 吹田・子育て支援課・永治 次代
 横浜・児童相談所職員・畑井田泰司

福祉のひろば



◎定価525円(税込・送料別)
 ◎1年分6300円(送料不要)
総合社会福祉研究所
 〒543-0055 大阪市天王寺区基田院町8-12
 ☎06(6779)4894 FAX06(6779)4895

○もつとほしい クッキーねらう目 でも残飯
 (おやつクッキーをパクパクとたいらげ、物足りないようすのさやちゃん。他の子は「ごちそうさま」をして、その目はじつとワゴンの上の残飯のお皿を見つめていました。ごめんね、さやちゃん。それはちよつとあげられないの。)

○初うんち! これであなたも なかま入り
 (入園から二カ月たったのになかなかなれないちやちゃん。そんなちやちゃんをひざに乗せ、絵本を読んでいたある日。プーンとかぐわしい? 香りが…。もしやと思いオシリチエック! そうです。初うんちがでたんです。排泄行為は心を許してくれないとなかなかしてくれないんです。だから、うれしくってクラスでみんな喜んでいました)

○「かわいそう」なんでこれだと 言われるの
 (まだ、歩行がたどたどしい一歳児クラスは、避難車に乗っておさんぽに行きます。するとなぜか通りがかりの人に「かわいそう」と言われることがあるのです。なぜなのでしょう。いつも不思議に思います。ドナドナのうたのように、売られて行くように見えるのかなあ? って。ことは私は牛飼いです)

投稿していただいた方 小畑記代子さん、熊深有紀さん、村山真弓さん、矢吹江梨子さん、morimaruさん、豊島区・乳幼児のあそびグループ



保育者

○自分で! はいいんだけれど オムツはね
 (ジブンデ! ジブンデ! と何でもひとりやりたい一歳児。できるころまでは、見守っていきたくも思ってもオムツだけは…。しかも○○のものはね。だってそのあとがおそろしいんだもの)

○地が出せて 母も楽しむ 保育園
 ○甘え出て わがままもいう ベテラン母
 ○過ぎ去れば あつという間の 六年間

親のくらし

○名ばかりの 有給休暇 とりたくない
 (代休も取れない父親。有給休暇も当然あるのですが、入社して二年、ちゃんと取ったことはありません。一度有給休暇を使ってみたいというのが夫の夢。小さな夢ですが…)

○結局は 産休とれば 席はなし
 (建て前として産休はあるのですが、取りたいと申し出たらたぶんクビになるだろうなあ。本音と建て前はさやちゃんちがう。これが現実です)

○父休み 金魚の世話を のんびりと
 ○母休み フラフラの中 掃除する

